

令和 3 年度使用

中学校において使用する
教科用図書を選定理由書

隠岐採択地区教科用図書採択協議会

選定理由書（国語科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

本教科書は、内容、分量等、バランスの良い教材選択がされており、どれも生徒の発達段階に合った教材である。

各教科で身につけたい資質・能力が、「言葉の力」で示されていることで目指すところが明らかとなり、生徒が見通しをもって授業に参加するための助けとなっている。また、「学びの扉」で生徒自らが課題に気付くことで興味・関心をもって取り組むことが期待できる。さらに、問題解決的な活動も多く、対話を通して学びが深まるように工夫されている。

「広がる言葉」と資料編「言葉を広げよう」では、3年間を通して合計 1555 の語彙を示しており、幅広い言葉(類語)を知るための助けとなり、実生活に結びつく内容である。

以上のように、3年間を通して「言葉の力」を確かなものに育てるという観点で編修されている。

選定理由書（書写）

（選定：光村図書）

下記の理由により選定した。

本教科書は一連の学習を見開き2ページに収め、「考えよう」・「確かめよう」・「生かそう」という学習の流れが、簡潔かつ分かりやすく示してあり、生徒が見通しをもって学べるように配慮している。更に、「学習の窓」では書写力アップのためのポイントがまとめられている。

主たる学習要素を大きく丁寧に、その他を小さく簡潔に示してあり、何が大切か一目でわかる。

硬筆練習帳「書写ブック」は28ページと質・量ともに充実し、取り外して使用できるようになっている。ワークシートのように書き込むことにより、毛筆の学習を硬筆の学習へとスムーズに生かすことができるように工夫されている。

以上のように、身に付けた書写の力を日常に広げるねらいももって編修されている。

選定理由書（社会科 地理的分野）

（選定：帝国書院）

下記の理由により選定した。

①単元の導入部分では、地域の姿が見える写真とイラストにより、生徒の興味・関心をひきつけ、主体的な学びを促せるよう配慮されている。

単元の導入では、写真(世界・日本共通)及びイラスト(日本)により、地域の自然環境や生活及び産業などが掲載され、これから学習する地域の特色を視覚的に概観できるよう工夫されている。

②各単元を通して見通し、振り返りがしやすい構造になっており、単元のまとまりで課題解決的な学習を行うことができるよう工夫がされている。

単元を貫く「問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、単元最後の「学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、単元を通してそれぞれ「問い」を考えていくことで、課題解決的な学習ができるような構成となっている。

③「二次元コード」による自主的な学習への支援がされている。

各単元のはじめ及び時差の求め方など生徒にとって分かりにくいと思われる事柄には「二次元コード」が掲載され、授業以外においても生徒が自主的に活用できるよう工夫されている。

選定理由書（社会科 歴史的分野）

（選定：帝国書院）

下記の理由により選定した。

帝国書院の教科書は、選定に必要な資料の観点全てにおいて問題がみられなかった。本書にみられる特色のうち、特に次の4つを取り上げる。

①時代の特色をつかみやすいよう工夫されている。

主要な12の時代について、政治・経済・文化を描いたイラスト「タイムトラベル」（想像図）によって、時代の特色をイメージしやすい。

②多面的・多角的に日本の歴史を捉えられるよう工夫されている。

一つの歴史事象について、様々な立場の人々の見方を示す資料が掲載されている。また、特設ページ「歴史を探ろう」では、地域の歴史を取り上げており、中央の歴史だけでなく地域史を重視している。さらに、「多面的・多角的に考えてみよう」という特集ページが組まれており、当時の社会に見られた課題をどう捉えるか、様々な選択を通して考えることができる。

③見通しや振り返りがしやすいよう構成が工夫されている。

章のはじめには「章の問い」を設けており、単元を貫く問いを明示することで見通しを持って学習に取り組める。また、各節の「問い」の積み重ねが章の「問い」の追究につながり、小単元の学習課題の積み重ねが節の「問い」の追究につながっているため、深い学びとなり、振り返りもしやすい。

④日本と世界の歴史の関わりが分かりやすいよう工夫されている。

「イラスト世界地図」によって、日本の歴史を世界の動きの中に位置づけて見ることができる。

選定理由書（社会科 公民的分野）

（選定：帝国書院）

下記の理由により選定した。

帝国書院にみられる特色のうち、次の4つを取り上げる。

- ① 実社会に興味をもたせ「学び心」を引き出す工夫がされている
「学習の前に」では、イラストの導入ページを活用してその部で学習する内容を視覚的にイメージすることができる。また、ワイドな写真や生徒に身近な事例を取り扱っている。
- ② 社会参画への意識を高める内容になっている。
それぞれの単元で社会参画を追求できるようになっている。また、具体事例が23テーマ紹介されており社会参画の大切さを考えられるようになっている。
- ③ 深い学びにつながる「問い」になっている
学習課題が設置されており、学習内容を見通せるようになっている。章の振り返りもステップを踏みながら深い学びを実現できる構成になっている。「アクティブ公民」では、10のテーマが設定されて取り扱いやすい内容になっている。
- ④ 地域の実態や課題への適合
竹島問題について、「日本固有の領土」「不法に占拠」「国際司法裁判に委ねよう」と提案」と本文に記述され、側注では、編入の経緯などが記述されている。

選定理由書（地図）

（選定：帝国書院）

下記の理由により選定した。

①大判化で地域の特色がとらえやすい。

世界への関心を引き出す大迫力の鳥観図が掲載され、その地方の人々の暮らしや地形の様子がよくわかり、各州の地域的特色を大観することができる。

②防災への意識が高まる充実した資料が豊富である。

自然災害の種類や分布を理解するだけでなく、地形図やハザードマップの見方を身に付けることで、防災への意識が高められるよう工夫されている。

③主体的に学ぶことができるとともに資料活用能力が高まるような工夫がされている。

随所に「地図活用」が配置され、地図活用の技能が高められるような工夫がある。また、その中には学習課題が示されており、生徒が主体的に学習を進めることができるようになっている。

「二次元コード」により、生徒が過程においても自ら活用できる工夫がされている。

選定理由書（数学科）

（選定：啓林館）

下記の理由により選定した。

問題数が非常に多く、演習に適している。難易度は基礎的な内容を中心に、バランスよく盛り込まれている。章末問題は【学びを確かめよう】、【学びを身につけよう】の2つのコーナーで構成し、習熟度別学習に対応している。横に記されたQRコードを読み取ると全ての問題の考え方と詳しい解説を見ることができる。巻末に難しい問題に対しての丁寧な解説もある。

章末の【〇〇の利用】では身のまわりや数学の場面から問題を発見し、解決するまでの過程を意識し、学習できるようになっている。見開き2ページにまとめられているので授業で活用しやすい。

巻末の【自分から学ぼう編】は裏表紙から始まる縦開きになっており、授業でも活用できるものが多い。【力をつけよう】は各章の学習が終わった後、その章の学習をさらに深めるのに有効である。【学びをいかそう】は数学を身のまわりで利用したり、深めたりすることができる内容になっている。

選定理由書（理科）

（選定：大日本図書）

下記の理由により選定した。

- ・各単元の冒頭部に「これまで学習してきたこと」と「これから学習すること」が見開きで示されていることで学習のつながりが分かるよう配慮されている。また小学校だけでなく高校の内容との関連や他教科との関連が明記されていることで、学習内容の縦・横のつながりを生徒が理解しやすい。
- ・写真やイラストが多く配置されており、視覚的にも生徒の興味関心を喚起しやすく、理解を促しやすい。また、学習内容に関連する発展的な資料が幅広く掲載されているため、あらゆる学力の生徒が興味をもって学習でき、資料集のようにも活用できる。
- ・生徒の発達段階を鑑み、中1の教科書では文字が大きく、小学校の教科書とギャップを感じないような工夫が行われている。また、発達段階に応じて発展的な内容の量が調節されており、つまずきを少なく学習できるよう配慮されている。
- ・ウェブコンテンツが用意されており、器具の操作を確認できる他、科学館や学習センターなどの施設のリンクや展示の動画も見ることができる。

選定理由書（音楽科 一般）

（選定：教育芸術社）

下記の理由により選定した。

学習目標と活動内容、音楽を形づくっている要素が各教材に設定されており、それらが一目でわかりやすく示されている。歌唱・創作・鑑賞の学習を関連つけて学びを深めるよう求められているが、学んだことを関連つけて活用することができるよう、音楽を形づくっている要素を中心に教材が結びつけられている。さらに「深めよう！音楽」では、生徒が自分の考えを整理しながら深い学びに向かえるように具体的な手順が示されており、さまざまな場面で登場しているキャラクターの吹き出しの言葉を基に、生徒が主体的・対話的な活動ができるように工夫されている。

また、「日本の民謡」において、代表的な民謡を例として示し、民謡が種類別に分類されており、生徒が地元の民謡と比較しながら地域文化に親しむことができるように工夫されている。

選定理由書（音楽科 器楽）

（選定：教育芸術社）

下記の理由により選定した。

各楽器の基礎的な演奏法を身につけることだけに留まらず、その楽器の様々な種類や演奏形態まで多くの写真が掲載されているため、生徒の学習への興味・関心を高める工夫がされている。また、学習の導入においては、それぞれの楽器の紹介や基礎的な演奏方法について具体的な写真が多く掲載されており、生徒が主体的に学習する視覚的支援が多くされている。

「深めよう！音楽」では、個人で考えをもった後、グループで話し合う協働的な学習につながるよう、グループで選択したり、響きを確認し合ったりできる流れとなっている。そのため、生徒の主体的・対話的で深い学びを引き出す手立てが示されている。後半のアンサンブルで使用される教材には、大小様々な編成の楽曲が掲載され、学校や地域の実態に応じて選曲できるように配慮されている。

選定理由書（美術科）

（選定：日本文教出版）

下記の理由により選定した。

学習指導要領の目標（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）に沿い、各題材に「学びの目標」が具体的に示されているため、目標に即した授業展開がしやすくなっている。さらに、「表現」（絵や彫刻との出会い）、（デザインや工芸との出会い）、「鑑賞」などの分野ごとにガイダンスが充実しており、見通しをもった学習が展開できる工夫がされている。

1年、2・3年上、2・3年下の3冊構成になっていることで、題材の掲載数が増え、発達段階や学校・地域に即した題材を選択することができる。

生徒からアーティストまで、多岐にわたる作品を掲載したり、情景写真や作者の言葉などを幅広く取り上げたりすることで、生徒の表現の幅を広げ、意欲を引き出す工夫がなされている。

選定理由書（保健体育科）

（選定：学研教育みらい）

下記の理由により選定した。

下記の理由により選定した。

本教科書は、各章扉で、小・中・高それぞれの段階での学習内容を示すことで、系統性を重視されている。また、小口の色分けインデックスにおいても、どの学年でどの内容を学習するのか視覚的に理解でき、3年間の見通しを持つことができるよう工夫されている。

各時間の冒頭に「学習の目標」と「キーワード」が設けられており、1時間の学習の流れを見通すことができるよう工夫されている。重要な文章には番号が振ってあり、補足説明がなされておりわかりやすい。「章のまとめ」では、問題だけでなく、「振り返ろう」で各章での学習を振り返り、自己評価できるよう工夫されている。

各時間の「まとめる・深める」で話し合いや記述、発表などの対話的な活動が取り入れられ、言語活動や協働的な学びが促されるよう工夫されており、まとめる・深めるでは実生活で起こりうることを事例に学んだ知識を活用して考えさせるようになっている。また、教科書サイトを利用して、専門サイトにつながり、より詳しく、深い学びができるよう工夫されている。現代的な課題である「がん教育」についても、「探究しようよ！」で取り上げ、重点的に学習できるよう工夫されている。

全体的に、中学生が興味・関心を持って学習に取り組み、基礎から活用までの幅広い力を身につけることができるように作られた教科書である。

選定理由書（技術・家庭科 技術分野）

（選定：教育図書）

下記の理由により選定した。

教育図書は内容が精選されており、作業の動画等が用意されているので、経験の少ない教員や生徒自身にとって指導及び学習がしやすい。特に内容が大きく変わる「情報の技術」は他の2社と比べてわかりやすい。また、紙面の余白が十分で文字も大きく、文章が短めで読みやすい。

栽培スペースや用具が限られている学校でも対応できる題材を取り扱っている。さらに、巻末切り取りに付いているA～D設計計画表や、基礎技能をまとめた別冊『技術ハンドブック』が非常に実用的である。

隠岐の現状である専門の教員や指導歴の長い教員が非常に少ない（免許外による指導が多い）こと、設備や用具が限られていることなどを考えると、誰にとっても指導がしやすく（わかりやすく）、生徒自身も主体的に学べる教育図書を選定した。

選定理由書（技術・家庭科 家庭分野）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

本書は、口絵・図・イラスト等が実物大の写真の提示も含め効果的に提示されており、関心・意欲を高める工夫がされている。

学習の導入やふり返りでは、見通しを持った学習をするための簡単な活動例が示され、自己評価に基づき学習内容の理解を深めることができるように「学習のまとめ」が設定してある。

また、4編以外に「選択」の章を設定し、生活に必要な知識や技術を実生活に生かすための「自分の生活の課題と実践」について具体例を提示してあり、考えやすい工夫がされている。

家庭分野の目標である「自分の家庭生活を振り返り、生活の課題を見つけて実践していくことで生活の自立を目指す」ことを達成するための学習の流れが明確に示してあるため、本書を選定いたしました。

選定理由書（英語科）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

近年、グローバル社会の進展により、「英語を使う力」や国や文化の違いを超えたコミュニケーションの重要性が高まっている。英語力の基礎を身につけるとともに、相手を意識して伝え合う意識を高め、異文化理解や今日的な課題に向き合うことができる教科書である。

全学年を通して既習事項が配置されているため、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら発信力（書く・話す）を育成することが可能である。

また、題材が人権、伝統文化、自然、平和、国際理解等、多岐にわたり、多様な読み物に触れることにより「思考力・判断力」を育むことができる。

さらに「聞く・読む・話す・書く」技能をバランスよく活用しながら文法の学習が行える構成になっている。そのため、段階的に英作文に取り組むことができ、「語と語のつながりに注意して正しく英文を書く」という隠岐地区の英語指導の課題に対応できると考える。

選定理由書（特別の教科道徳）

（選定：東京書籍）

下記の理由により選定した。

本書は、各学年ともオリエンテーション、本編、付録の3部構成となっており、オリエンテーションで授業の基本的な流れを学習してから本編に入れるようになっている。また、本編35教材、付録5教材の構成となっているため、各校の重点目標を考慮して年間計画を設定することが可能であるとともに、学校の実態に応じて扱う教材を柔軟に活用できる。

教材の文章量が比較的少なく、生徒が議論する時間やグループワーク等の小集団での学習時間を多く取ることができるため、議論が深まると考えられる。また、写真やイラストなどがふんだんに掲載されており、生徒の興味・関心を高めるとともに、場面展開等の理解がしやすいように配慮されている。

全学年で「いじめ防止」「生命尊重」について考えるユニット構成がなされており、現代的課題について重点的に学習できるようになっている。また、「情報モラルと友情」をテーマにした教材が全学年に設定され、生徒にとって実生活における身近な問題を考えることができるよう配慮されている。

各教材に「つぶやき」の欄が設定されており、1時間ごとに学習を振り返って、自分の意見や考えを記入できるようになっている。また、巻末には学期ごとの振り返りのシートがついており、年間を通じて効果的に学習できるとともに、生徒の考えを記録に残すことができるようになっている。